

| ○   | 省令第三十号                | 平成三十一年六月二十七日             | 行條件等を次のとおり告示する。         |
|---|-----------------------|--------------------------|-------------------------|
| 財務省告示第百八十四号   | 利付国庫債券(二十年)(第一百六十九条)  | 財務大臣 麻生太郎                | 平成三十一年六月二十七日            |
| 募入決定の   | 発行方法                  | 用振替法の適                   | の法律及び記                  |
| 価格国定特あ争入競債め別つ入札に競市る参て札發入場も加、と行「札特の者財同發別にご務時」と行參よと大に「う」加るに臣行「う」と者發応がわい・行募各れ及「札」の第限國るび価「I」以度債入価格非下額市札格競い入 | 価格振替適下へ平成十三年法律第十七十五号。 | 社年第別年債一項に競争は受けるものとし、その規定 | 利付國財政運營に必要な財源の確保を       |
| 価格競争う札債の以律社年第別年債一項に競争は受けるものとし、その規定  | 利付國庫債券(二十年)(第一百六十九条)  | 利付國庫債券(二十年)(第一百六十九条)     | 利付國債の發行等に関する省令(昭和五十七年大蔵 |

| 七<br>口<br>イ<br>払 | 六<br>イ<br>発      | 方<br>入<br>価<br>法 |
|------------------|------------------|------------------|
| 国入価込行争非者特国       | 入価行争非者特国         | 入価法              |
| 債札格金入価・別債        | 札格行入価・別債         | 札格               |
| 市発競金札格第参市        | 発競札格第参市          | 発競               |
| 場行争額発競I加場        | 行争額発競I加場         | 行争               |
| 千五八              | でた条特十いにる年三債の特確う額 | 込募各当も各           |
| 七万千              | 千利第別二て基法度億に規例保ち面 | み限国ての申           |
| 百円二              | 七付一會億はづ律予六つ定にを、金 | の度債るか込           |
| 五百               | 百国項計三、き第算千いに關図財額 | 応額市。らみ           |
| 億七               | 七債のに千額發四分二て基する政で | 募の場その            |
| 八十九              | 億に規関九面行十～十はづるた運八 | 額範特のう            |
| 千九               | 円つ定す百金し六、五、き法め營千 | を囲別応ち            |
| 五億               | いにる七額た条特万額發律のに二  | 割内參募応            |
| 十九               | て基法十で利第別円面行第公必百  | りに加額募            |
| 一千九              | 、づ律五三付一會へ金し三債要八  | 当お者を価            |
| 一万円              | 額き第万千国項計平額た条のな十  | ていご順格            |
| 五百九              | 面發四円二債のに成で利第發財億  | るてと次の            |
| 九十               | 金行十百に規関三五付一行源    | 。各の割高            |
|                  | 額し六八つ定す十千国項のの円   | 申応りい             |

十四

十一  
二

十  
一  
發

九八

|   |                   |         |   |             |
|---|-------------------|---------|---|-------------|
| 初 | の 経 利 行 争 非 者 特 国 | 入 価 発   | 替 | 低 行 争 非 者 特 |
| 期 | 払 過 入 価 ・ 別 債     | 札 格 行 行 | 額 | 入 価 ・ 别     |
| 利 | 込 利 札 格 第 参 市     | 発 競 価   | 单 | 札 格 第 参     |
| 子 | み 子 率 発 競 I 加 場   | 行 争 格 目 | 位 | 金 発 競 I 加   |

|  |   |  |   |  |
|--|---|--|---|--|
| 金と平<br>額し成<br>を、三<br>支次十<br>払の年<br>う算九<br>。式月<br>たに二<br>だよ十<br>しり日<br>、算を<br>支出支<br>払い払<br>期た期 | る定り払募年<br>.す算込入○<br>る出金決・<br>期し額定五<br>日たにのパ<br>に金加通一<br>払額え知セ<br>いを、をン<br>込第次受ト<br>む二のけ<br>も十算た<br>の号式者<br>とにには<br>す規よ、 | 十額格<br>三面<br>錢金<br>額<br>百<br>円<br>に<br>つ<br>き<br>九<br>十<br>九<br>円<br>九 | 平す額の振<br>成る記替<br>三。整載法<br>十。数又の規<br>六年六月の記定<br>月二十七日<br>額はによる最振<br>に、る最も低替<br>も額口の面座<br>と金簿 |  |
|  |   | 100   0.5  |   |  |
|  |   | 365   99   |   |  |

二 十 十 十 十  
十 九 八 七 六 五

払 者 入 払 元 償 償 後 第  
込 札 場 利 還 還 の 二  
期 参 所 金 金 期 利 期  
日 加 支 額 限 子 以

平 財 日 額 平 利 て を 每 謹 す 次 そ が  
成 務 本 面 成 子 、 支 年 金 有 する 号 の 銀  
三 大 銀 金 五 を そ 払 三 月 期 及 翌 行  
十 臣 行 額 十 支 の 期 月 × 日 び 営 休  
年 か 百 年 払 日 と 二 100 に 第 業 業  
六 ら 円 三 う 以 し 十 × つ 十 日 日  
月 通 に 月 。 前 、 日 210 い 六 に に  
二 知 つ 二 六 各 及 て 号 支 当  
十 を き 十 月 支 び 同 に 払 た  
七 受 百 日 間 払 九 じ お う る  
日 け 円 に 期 月 。 い へ と  
た 者 属 に 二 。 て 以 き  
者 す お 十 規 下 は  
る い 日 定 、 、